

6年生保護者の皆様

令和6年度 6学年「社会科」シラバス

学習の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指します。

評価の観点

評価の観点	どんな学力か
知識・技能	我が国の政治と歴史及び国際理解に関する事柄について理解するとともに、情報を適切に調べまとめる。
思考・判断・表現	社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、それらを説明・議論したりする。
学びに向かう力	主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりする。

評価の方法

社会の学力は主に次のような方法で把握します。

○授業態度 ○発言、発表 ○単元テスト ○ノート ○提出物

学習計画

月	単元名	主な学習内容
4月	1 憲法とわたしたちの暮らし	・日本国憲法の基本的な考え方や具体的な内容について調べ、暮らしとの関わりを考え、表現することができる。
5月	2 わたしたちの暮らしを支える政治	・身近な地域の子育て支援事業について調べ、国民と政治の関わりについて捉える。 ・政治の仕組みや働きについて理解する。 ・災害から国民の命や暮らしを守る政治のはたらきについて調べ、国民と政治のかかわりについて考え、政治のしくみやはたらきについて理解する。(選択)
6月	3 国づくりへの歩み	・米づくりが始まって人々の暮らしや社会の様子が変化してきたことをつかむ。 ・巨大古墳の広がりなどから、王(豪族)を中心とした国が大和朝廷によって統一されていった様子をおさえ、国形成の経過を理解する。
7月	4 大陸に学んだ国づくり	・聖徳太子の業績や大仏造営の事業などから、天皇を中心とした中央集権の国づくりが、大陸の政治や文化に学びながら進められたことをとらえる。 ・大陸文化を消化・吸収する中から日本風の文化が開いていったことを理解する。
7月	5 武士の政治が始まる	・武士による政治が始まった経緯や武士の暮らし、鎌倉幕府の仕組みや政治について理解する。 ・武士の暮らしの様子や鎌倉幕府の政治について理解する。
7月	6 室町文化と力をつける人々	・室町時代に生まれた文化について調べ、自分たちの生活とのつながりを考えることを通して、室町文化の特徴を理解する。
9月	7 全国統一への動き	・戦国の世の中が統一されていく様子に関心を持ち、信長、秀吉、家康の働きを調べ、全国統一に果たした役割を理解できる。
9月	8 幕府の政治と人々の暮らし	・江戸幕府の仕組みや大名との関係、外国との関係や人々の暮らしについて理解する。 ・武士を中心とする身分制度が確立し、幕府の政治が安定したことを理解する。
10月	9 新しい文化と学問	・江戸時代の文化や都市の様子、産業や交通の発達の様子について理解する。 ・社会が安定する中で人々が力をつけ、新しい文化や学問が栄えたことをつかむ。
10月	10 明治の新しい国づくり	・明治政府が目指した国づくりとそれによる社会の変化について理解する。日本が西洋の文化を取り入れながら近代的な国家を目指して様々な改革を進めたことを理解する。
11月	11 近代国家を旨として	・条約改正が達成されていく経緯や、周りの国々との関係の変化、産業の発達について理解する。 ・国際社会における我が国の地位が向上していったことを捉える。
11月	12 戦争と人々の暮らし	・日本の戦争がアジア・太平洋に広がっていった経緯や、国内の様子について調べ、人々の暮らしや他国との関係がどのように変化していったかをつかむ。 ・戦争がもたらした国内外の被害の状況について理解する。
12月	13 平和で豊かな暮らしを旨として	・日本国憲法の制定や東京オリンピックの開催、高度経済成長などを通して、戦後、日本が平和で民主的な国づくりに取り組んだことを捉える。 ・国際社会からの信頼を回復するとともに、国民生活も向上していったことを理解する。
1月	14 日本とつながりの深い国々	・日本とつながりの深い国の人々の生活の様子について、自分の興味・関心や問題意識に基づいて主体的に調べ、成果を発表したり話し合ったりすることを通して、異なる文化や習慣を尊重し合うことの大切さを理解することができる。
2月	15 地球規模の課題の解決と国際協力	・日本や世界の人々が様々な形で国際交流や国際協力を行っていることを理解する。
3月		・平和な社会の実現に向けて努力していることを調べ、残されている問題にも目を向けながら、今後、国際社会の中で日本が世界に果たすべき役割について考えることができる。

※上記の学習内容は主なものであり、全てではありません。

※学習の時期や順序は変更になる場合があります。詳しくは学年便りをご覧ください。

家庭学習でできること

- 歴史・政治に関する読書
- 本やインターネットを使った調べ学習(歴史人物調べ)
- ニュースに目を向ける